

丹沢：小草平ノ沢

- ◆日程 2021年7月17日(土)
- ◆メンバー L：ST(俊)、SM、SD、OY、TY、OD
- ◆天候 晴れ

梅雨明けが発表された翌日。絶好の沢日和だ。運動不足の体と蛭が心配だが、参加することにした。大倉のバス停に着くと、大倉高原山の家の建物を解体するとかで、さよならイベントのようなものをするらしく、チラシを渡された。林道を歩いて、二俣へ。人気の鍋割山に続く道とあって、登山者も多い。橋の手前で準備をし、入溪。左手に勘七ノ沢を見送り、小草平ノ沢に入る。

F1の7メートル滝を前にして、だいぶ立派だな、という印象を受ける。水量が多く、滝に迫力があるせいか。STさんはフリーソロで右を難なく上がっていく。真似したいところだが、少々不安で、垂らしてもらったお助け紐が心強い。コロナを言い訳に体を動かしていないツケが回ってきている。ようやく上がると、先は三段ほどの滝が連なっている。ここはそんなに難しくなさそうだ。しばらく順調に進んでいくと、4メートルほどの滝。STさんは頭から水を浴びて、流心を行くが、濡れたくないひとは他にルートを取る。もう少し夏がすすんで、気温が上がったら、私も水かぶりに挑戦したいが、今日はまだ少し濡れると寒い。とにかく水量がある印象。次々現れる滝を登っていくが、どれも高さはそんなではないものの、なんだか難しく感じる。ところどころでお助け紐を出してもらったり、残置スリングも使いながら上がっていく。一か所、なんてことないところでズルっとやり、後ろにいたOYさんをヒヤッとさせたのは他のメンバーには黙っておく。

CSの滝を過ぎ、左岸から入る水線を二本確認したところで二俣。水はまだ豊富に流れている。左に進み、大きめの滝をいくつか越え、(ここでもお助け紐)壊れた堰堤を見るころには、水量も減ってきた。しばらく行くとガレてきて、稜線の向こうの空が見えてくる。沢も終わりだ。

水を離れると、とたんに暑くなってくる。大倉尾根目指して上がっていくが、ツメの斜面も簡単で、稜線のすぐ下にはご丁寧に階段までついている。予定ではこの後、流れノ沢を下降して、戸川林道経由で大倉だったが、時間もギリギリなのと、小草平で皆満足してしまい、このまま登山道を降りることにする。途中、取り壊しするという大倉高原山の家を見に行こう、ということになり、寄ってみる。テントがひと張りあったが、人気はなく、水場も枯れていた。トイレも使えなさそうだった。下山最後はお約束の観音茶屋の牛乳プリンを食べ、大倉バス停へ。

4年ほど前に来た時は、ゴルジュが暗く、水も少なく、じめっとした暗い沢という印象だったが、今日は木漏れ日も明るく、豊富な水量が楽しい沢だった。同じ場所とは思えない。沢というところは、毎回まったく違う顔をみせてくれる。だから、面白い。

(記：OD)

CT：大倉9：00 - 二俣10：45 - 15：00 大倉尾根-17：00 大倉